

～食生活改善推進事業～

「だしワークショップ」の参加者を募集します！

日時 3月1日（水）午後1時～午後2時15分（受付 午後0時50分）
 会場 大内公民館（大内総合支所隣）
 内容 「だしワークショップ」～減塩でも美味しく
 講話と実習（みそ玉作り）
 講師 有限会社津野商店 津野朋恵氏
 締切 2月20日（月）正午まで
 申込み先 食生活改善推進協議会大内支部事務局
 市民サービス課市民福祉班 電話65-2810



総合支所だより
おうち

申告相談は3月15日（水）まで

<本人確認にご協力をお願いします>

【問い合わせ先】
 市民サービス課振興班
 電話 65-2214

申告相談では、次の①から③いずれかの提示による身分確認が必要になります。

- ①マイナンバーカード ②マイナンバー通知カード及び身分証明書（運転免許証等）
- ③マイナンバーの記載された住民票の写し及び身分証明書（運転免許証等）

※各書類への押印は不要です。これに伴い本人確認を徹底していますので、お忘れなくお持ちください。

<「医療費控除の明細書」の記載は「個人ごと」「病院（薬局）ごと」で！>

令和4年分の所得税（住民税）確定申告で医療費控除をうける場合、「医療費控除の明細書」の添付が必須です。医療費通知の金額を使用する場合、医療費通知をご持参ください。領収証の金額を使用する場合、明細書には、「個人ごと」「病院（薬局）ごと」に記載してください。介護保険サービスも同様です。このうち、生命保険や社会保険などで補てん（高額療養費など）があった場合は、差引が必要ですのでご注意ください。

申告相談がスムーズに行われるよう医療費控除の明細書の事前作成をお願いします。

<感染症対策にご協力をお願いします！>

- ・会場でのマスク着用、検温、手指消毒にご協力ください。
- ・電子申告の積極的な活用などで、接触機会の抑制にご協力ください。
- ・申告書類等を事前に集計・整備し、接触時間の短縮にご協力ください。
- ・相談者が多数になった場合、自家用車などでの待機をお願いする場合があります。
- ・会場で定期的に換気を行う場合があります。重ね着などのご協力をお願いします。



。。。。
だしワークショップの参加者を募集します
申告相談は三月十五日（水）まで
コミュニティバスに乗りましょう！

第317号
R5.2.15
発行：市民サービス課

主な内容

乗って守ろう！乗って育てよう！ 地域の公共交通『コミュニティバス』に乗りましょう！

★乗車料金★

1回200円(子ども100円)で全区間乗車できます。
 ※「乗継券」の発行を車内で受けると乗り継ぎ先の乗車料金はかかりません。



★通学定期券★

中学生…1ヶ月4,000円 3ヶ月11,400円 6ヶ月21,600円
 高校生…1ヶ月4,800円 3ヶ月13,600円 6ヶ月25,900円

★運賃の減免制度（免許返納・無料利用者証）★

65歳以上の運転免許証自主返納者に対する「運賃の半額支援」を行っています。
 また、身体障害者手帳や療育手帳の交付を受けている方、介護保険の要介護や要支援認定を受けている方などを対象に「無料利用者証」を交付しています。

★お得な回数券★

11枚綴りで1回分お得な「コミュニティバス共通回数券（市内共通）」を販売しています。
 ・大人2,000円(200円×11枚綴り) / 子ども1,000円(100円×11枚綴り)
 ・車内（運転手にお声がけください）または市民サービス課窓口で購入できます。

◆市公共交通情報サイト◆

市内の鉄道、路線バス、コミュニティバスのダイヤ情報をまとめたサイトです。
 路線バスやコミュニティバスのバス停位置情報も表示されます。

URL : <https://yurihon.jp>

サイトQRコードはこちら→



【問い合わせ先】 市民サービス課振興班 電話 65-2211

【除排雪中の事故防止について】

秋田県内では除排雪中の事故による死傷者が多く発生しており、今後もこうした事故の増加が懸念されます。特に落雪や雪下ろしに関する事故が多く、除排雪作業時は安全対策を徹底しましょう。

<除排雪作業中の事故についての注意点>

- 1 落雪
屋根に積もった雪が落ちてくる可能性があるため、軒下には近づかないようにしましょう。近づくと必要がある場合は、落雪の危険性を考慮したうえで作業または通行しましょう。
- 2 雪下ろし
屋根から転落する可能性があるため、ヘルメット、命綱、安全带（フルハーネス型）を装着しましょう。命綱はザイルロープなど丈夫なものを屋根の上で止まる長さで正しく結びましょう。はしごはしっかりと固定して転倒しないようにするとともに、はしごの上で作業をしないようにしましょう。
1人での作業は事故が発生した際に発見が遅れる可能性があるため、除排雪作業は2人以上で行いましょう。やむを得ず1人で作業を行う場合は、携帯電話や笛を身につけ、家族や近所の方に声をかけてから行いましょう。
- 3 除雪機
除雪機を使用して作業する場合は周囲をよく確認し転倒しないよう注意しましょう。雪詰まりを取り除く場合は、必ずエンジンを切り、棒などで取り除くようにしましょう。

